

サイボウズ  
G Garoon  
導入事例

interview for

国立大学法人京都大学



京都大学

KYOTO UNIVERSITY



■ DATA:  
ご利用規模：12500 ユーザー  
ご利用製品：「クラウド版 Garoon」  
導入パートナー：株式会社富士通エフサス

## 12,500 名で利用する情報共有システムを Notes から刷新 連携でより便利に



### 事業概要

国立大学法人京都大学において、情報基盤の充実及びこれに基づく情報環境の整備等を推進するための全学組織として 2005 年に設立された情報環境機構。専任の教員からなる IT 企画室と職員からなる企画・情報部が一体となり、学内の IT サービスに係る企画・設計・運用を担っています。

そんな情報環境機構では、教職員 12500 名が利用するグループウェアとしての IBM Notes/Domino (以下、Notes) の刷新を進め、「Garoon」と「kintone」に移行しました。その経緯について、京都大学情報環境機構 IT 企画室長 教授 永井 靖浩氏にお話を伺いました。情報環境機構 IT 企画室長 教授 永井 靖浩氏にお話を伺いました。

## 導入前の課題 カスタマイズでブラックボックス化した Notes からの脱却

——2017 年から段階的に教職員用のポータル（教職員グループウェア）として、Notes から Garoon への移行を行っていらっしゃいます。そもそもの経緯について教えてください。

2005 年に職員向けのグループウェアとして Notes を導入し、2009 年には教員向けにまで規模を拡大、12500 人ほどの教職員全員のポータルとして利用してきました。

大学という組織は、現場からいろんな要望が出てくることが多いです。しかし、工数をかけていた割には教員の利用率があがらず、2015 年に利用率向上に向けて Notes のプチリニューアルを行いました。その段階で、NotesDB によるカスタマイズが進んでしまっていたことで、改修のためのコストも非常にかかってしまいました。使い勝手を良くするためにできる限り対応してきた結果、維持していくことが大変になってしまっていたのです。

そこで、Notes 専任の保守要員も抱えていたものの、年を経るごとに人材確保も困難になっていたため、今回新たな環境への移行を計画しました。



京都大学情報環境機構 IT 企画室長 教授 永井 靖浩氏

# 標準的なクラウドサービス利用で NotesDBの再現が可能な基盤を評価

—新たな基盤としてどんな環境を希望していましたか。

利便性の高い標準的な機能が利用可能なクラウドサービスであること、そしてファイル管理やスケジュールなど Notes で利用されてきた機能がきちんと再現できるものを選定基準にあげました。また、学生の認証情報生成を行う利用者管理システムで採用していたシングルサインオンの基盤となる Shibboleth 認証に、教職員ポータルも移行できることも必須でした。新しい SaaS 型のサービス、日本で通用しているサービスをそのまま使うべきだという考えもありました。

—NotesDB で作成されていた独自のアプリを再現するべく、サイボウズの kintone が活かされているわけですね。

はい。当初の要件から NotesDB で実現していた機能が移行できることがありましたので、そんな Notes の独自のアプリが作れるものとして kintone、グループウェア機能として Garoon を組み合わせて使うという応札結果になりました。

## 「管理コストが低くなり、 本来のグループウェアの使い方が できるようになった」

—Garoon をどのようにして使っているか教えてください。

教職員ポータルの基盤である Garoon は、派遣職員も含めた 12500 名ほどの教職員全員が利用しており、kintone はおよそ 700 のアカウントで運用しています。Garoon で利用しているのは、ファイル管理やスケジュール、施設予約、そして掲示板の機能など Notes で利用率の高かったアプリケーションが中心です。

他にも、Notes にて複雑に構築されていたワークフローも基本的には Garoon に移行し、一部 kintone と連携して以前同様のフローを実現しています。なお、スペースやメッセージ、電話メモ、ToDo など Garoon が持っている機能は全て開放しており、自由に利用できるようにしています。

—複数のクラウドサービスをどのように連携させているのでしょうか。

Garoon と kintone、Google Workspace という各クラウドサービスを活用していますが、全員がアカウントを持っているわけではないため、個人アカウントと共用アカウントをうまく変換させるなど、フルスクラッチでユーザー情報が連携できるように作り込んでいます。例えば、Google のグループ配信機能を使う場合は、Garoon 上の申請フォームから申請してもらい、その情報を Google のグループに配信したり、kintone 上で管理している二次グループの管理簿アプリに配信したりといったことを行っています。

—Notes から Garoon に移行したことで、得られている効果はどんな点でしょうか。

クラウド環境に移行したことでサーバのメンテナンスについては不要になりましたし、**Notes のために 2 名ほど抱えていた開発者を 1 名体制に切り替えることができた**のは効果の 1 つと言えます。また日常の運用については、ブラックボックスだった Notes 環境から脱却したことでだいぶクリアになりました。権限の整理などは移行時に苦労したものの、**Garoon へ移行したことで運用負荷が軽減できた**点は大きな効果だと考えています。

そして、BCP の観点でも効果がありました。以前は事業継続に関しては、BCP 環境として遠隔地にバックアップを持つぐらいでしたが、SaaS に移行したことで安心感が得られています。大学独自で BCP 環境を構築するとなると相当なコストがかかりますが、**最小限の費用で BCP 環境が整備できた**ことも効果として見ています。

—利用者からの反応はいかがでしょう。

**Notes と比べてグループウェアの利用率が向上している**と考えています。今では事務職員が教員のスケジュールを登録するなど、スケジュールそのものをオープンな形で運用しており、本来のグループウェア的な使い方になってきていると思います。また、これまで情報セキュリティの観点からメールへの情報添付を避けるように啓蒙活動を続けてきましたが、ファイルを Garoon でやり取りすることで、メールに添付ファイルを使用することが徐々に少なくなっていると思います。

現在の環境が整備できたおかげで、メールリテラシの向上にもつながっているはずです。

The screenshot displays the Kyoto University Faculty Portal interface. At the top, there is a navigation bar with various icons for services like Mail, Messages, Schedule, File Management, Notice Board, Facility Reservation, Staff Search, Notice List, Memo, To-Do List, Spaces, Favorites, Business Links, Manual/FAQ, and Real-time Registration. Below this, there are tabs for 'Portal', 'Notice Board Information List', 'Overall Notice Board Information List', and 'Department Notice Board Information List'. A prominent red notification banner reads: '【お知らせ】新型コロナウイルス関係の学内通知等は下記リンク先を参照してください。' with a link to '新型コロナウイルス関係学内通知登'. The main content area is divided into sections: '通知一覧' (Notification List) with a '通知一覧' button, and '基本メニュー (職員)' (Basic Menu for Staff) listing various systems like 'マニュアル・FAQ', '安否確認システム', '就業管理システム', '人事・給与の申請閲覧等', and '財務会計システム'. A '掲示板 - 新着情報' (Notice Board - Latest Information) section is highlighted with a green border, showing a list of notices dated October 23rd and 22nd, with categories like '施設・安全(総合掲示板)', 'システム(総合掲示板)', '福利厚生(総合掲示板)', '配属表・名簿(総合掲示板)', and 'システム(総合掲示板)'. At the bottom, there is a 'スケジュール (週表示)' (Schedule - Weekly View) section.

京都大学の教職員ポータル 自分宛ての情報が絞り込んで表示される

——他に、カスタマイズをされて工夫されている点がありますか。

掲示板の情報に関しては、全学向けのお知らせと部局内限定の情報が混在しているため、**自分宛てのお知らせだけをうまくゾーニングして表示**するようにしています。また、掲示板のフォルダ構成も、全学向けのお知らせを掲示する総合掲示板と、情報環境機構や企画・情報部など各組織のフォルダをルート直下に配置し、切り分けて選択できるようにしています。研究科と研究所など複数の組織を兼務している人は、人事上の所属組織だけでなく双方の組織の情報にうまくアクセスできるようにしなければならず、複数所属設定を可能にするなど、使い勝手を高めるような工夫を施しています。

文言表現や更新日の出方といった細かな要望は寄せられることもありますが、細かな要望に対応してしまうと以前の Notes 同様に複雑になり、運用コストも膨れ上がる。実はどの大学でもみんな同じ課題を持っているのが実態ですが、カスタマイズする方がデメリットは大きい。汎用的な SaaS なので頑張って使ってくださいと内心思っています（笑）。

## 今後の展望 データの利活用を進めるためにも SaaS が不可欠に

——今後どんな点を改善していきたいと考えていますか。

教職員用ポータルについては、まだ教員の利用率が十分とは言えませんが、SaaS に切り替えられたことだけでも大きな一歩です。実際には、学内ホームページ上にある掲示板的な機能で情報確認したいという多くの教員の要望を叶えているのですが、どうしても学内共通の認証基盤を利用することがネックとなり、Garoon の掲示板への移行はそれほどすすんでいないようです。それでも、当初よりも教職員用のポータルにアクセスいただけるようになってきているため、さらに利用しやすい環境を整備して、利用率を向上させていきたいですね。

——SaaS や PaaS というプラットフォームに関して、今後どのようにお考えでしょうか。

正直に言えば、もうオンプレミスで独自の環境で運用する時代ではないと考えています。自治体が進めているパッケージの標準化同様、大学でも同じようなことを進めていくべきです。法人化の流れのなかで大学ごとに業務システムが個別に構築されてしまったために、データやシステムの互換性が悪くなり、データの利活用が進まないのが問題になっています。

それを解消するための 1 つの方法が、SaaS や PaaS を使っていくことではないでしょうか。アカデミックな機関向けの共通ガイドラインのようなものがあればベストですが、**現実的な解はクラウドを利用してデータやシステムの互換性を高めていくこと**。国にはそんな旗振りをして欲しいと思いますし、その動きに京都大学は貢献していきたい。他の大学の皆さんもぜひご協力いただければと思っています。



## メッセージ・スケジュール・ 掲示板・kintone 連携

—Garoon には便利な機能がたくさん備わっています。他に日常で役立っている機能はありますか。

個人的にメッセージ機能は割と使っています。以前は Notes 上で大容量ファイルを受け渡しする仕組みを個別に作っていましたが、その代替え手段として役立っています。メールへのファイル添付を避けるため、メッセージにてファイルを相手に送っておき、そのメッセージの URL をメール内に張り付けて送るといったやり方です。Garoon であれば認証基盤を通過した人しかアクセスできないセキュアな運用ができています。

—利用率を上げるために、工夫された点はございますか？

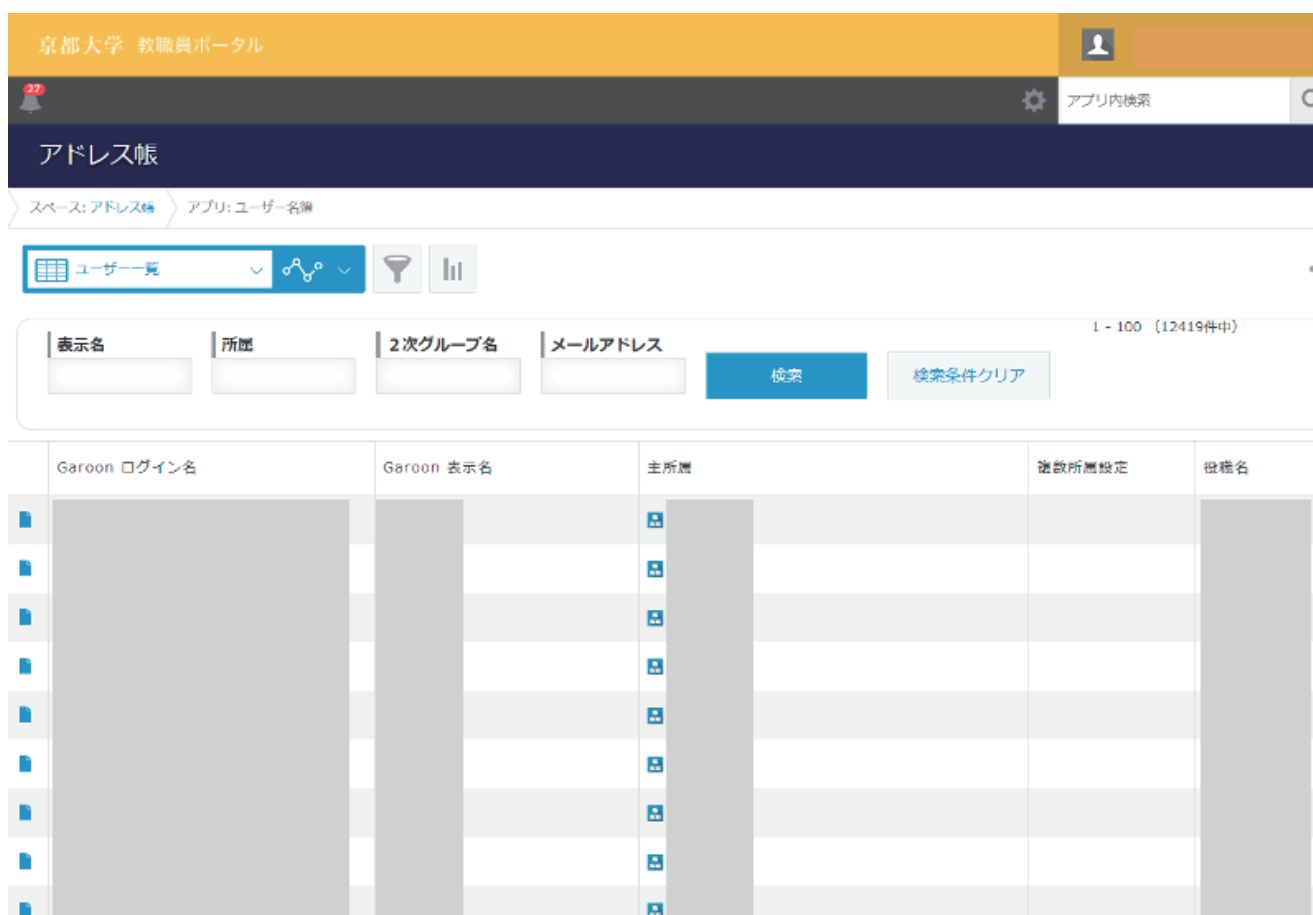
Garoon のスケジュールと Google カレンダーを同期させ、どちらにも予定を反映させるといった環境を整備することで、普段使っている環境でも教職員用のポータルが利用できるようにしました。フルスクラッチで開発したのではなく、連携ツールを使うことで、容易に連携ができました。

Garoon と Google Workspace を連携し  
Google カレンダーと Garoon のスケジューラーを同期



—kintone については、どんなアプリを構築していますか。

NotesDB で構築されていたアプリケーションを移行しており、[ユーザー名簿](#)や[職員録](#)、[契約実績検索システム](#)、[大型設備検索システム](#)など8つほどがアプリとして実装されています。ユーザー名簿は、Garoon 上からユーザー名簿のリンクをクリックすると kintone のアプリが開くような連携が行われており、DB の参照先として kintone を活用している一例です。また、[Garoon の組織機能](#)と [Google のグループ配信機能](#)を併せて利用できるように、二次グループと呼ばれるグループ情報の管理を行うアプリを kintone に実装しています。



京都大学 教職員ポータル

アドレス帳

スペース: アドレス帳 アプリ: ユーザー名簿

ユーザー一覧

表示名 所歴 2次グループ名 メールアドレス 検索 検索条件クリア

1 - 100 (12419件中)

Garoon ログイン名	Garoon 表示名	主所属	複数所属設定	役職名

kintone で構築されたユーザー名簿の画面